



観音寺市議会だより

KAN-ONJI CITY COUNCIL No.11 2016.11.1



ミライエ

観音寺の輝く未来へ
市議会の動きをわかりやすくお伝えします



平成28年度一般会計・特別会計補正予算を原案どおり可決
平成27年度一般会計・特別会計決算を認定
一般質問から見える市の課題
11月6日(日)平成28年度市民と議会のつどい(議会報告会)開催

表紙：香川西部養護学校 高等部2年 安藤桃花さん



検索

観音寺市議会

補正予算の概要

一般会計 4億1,876万円増 (補正後301億4,226万円)

特別会計 2億7,246万円増 (補正後 75億6,568万円)

主な歳入補正

- 旧観音寺東小学校運動場の一部を売却 1億3,300万円
県立三豊工業高校と観音寺中央高校の統合により、29年4月開校となる県立観音寺総合高等学校のグラウンド用地として



▲旧観音寺東小学校運動場

- 地方交付税 1億1,971万円
(補正後 59億1,971万円)
- 平成27年度決算による繰越金 2億7,287万円

主な歳出補正

健康福祉のまちづくり

- 放課後児童クラブの開設準備経費 144万3千円
平成29年度から粟井小学校に開設予定
- B型肝炎予防接種委託 730万円
対象者：今年4月1日以降に生まれた0歳児
10月1日から実施

安心して暮らせるまちづくり

- 有明ポンプ場非常用発電機 800万円
雨水・高潮対策排水ポンプの停電時などの電源を確保するための整備
- し尿処理委託費 4,934万円
し尿及び浄化槽汚泥の搬入量増加に対応するため



▲排水対策が進む有明ポンプ場

定例会が2日から28日までの27日間の会期で開かれた。一般質問は、2日間にわたり、14人が個人質問として市政について質した。

議案については、人権擁護委員の候補者の推薦を開会日に同意し、27年度決算認定12件は、決算審査特別委員会へ、条例関係1件、28年度補正予算5件、その他4件は各常任委員会に付託し、審査した。最終日には、物品製造請負に関する議案の撤回提案を承認し、その他の議案は、原案通り可決した。

また、請願1件を不採択とし、陳情1件は採択となった。

- 旧競輪場解体設計委託 1,510万円
施設全体の解体事業費の算定。解体時期等は未定

にぎわいの創出

- ふるさと納税推進費用 1,258万円
返礼品（22事業者参加）経費及び、事務代行委託料
- ふるさと学芸館開設準備費用 271万円
旧紀伊小学校を活用し、考古、歴史、民俗及び自然科学資料の展示や、小中学生の体験学習などを実施する施設として整備



▲活用される旧紀伊小学校

陸上競技場改修工事変更契約を可決

変更契約概要

変更後金額 2億1,684万5,640円

変更内容 関係団体と協議の上、全天候の部分を増やすことにより、競技運営の安定化を図る。

戸別受信機製造請負契約の議案を撤回

議案内容

4月から運用開始した防災行政無線において、屋内において情報が伝わるように「戸別受信機」を3億2,670万円で3,000台製造・設置する契約。対象世帯は、土砂災害警戒区域、聴覚障がい者、高齢者宅を予定。

付託された総務委員会において審議され、賛成多数で可決となったが、最終日、当局より「契約内容を見直す必要が生じたため」との理由で、議案撤回の提案があり、採決により賛成多数で承認となった。

請願及び陳情

JR四国等に係る 税制特例の継続等を求める請願 不採択（賛成7人、反対11人）

請願内容

JR四国は、民営化当初より営業赤字が想定され、固定資産税などの減免措置がとられてきた。経営を安定化させ、地域公共交通の維持発展のため、これらの措置の継続を求める意見書提出を求める。

主な反対意見

☞経営側から出されていない。一つの労働組合からのみ出されているのはおかしい。

主な賛成意見

☞経営の安定により地域の公共交通が守られ、現場労働者を守り、市民サービスの向上につながる。

清掃業委託事業についての陳情書 採択（賛成11人、反対7人）

陳情内容

市発注の清掃業務は、業務量から市内本社の業者で十分であり、市外業者の参入は、過当競争となり経営に影響を及ぼす。そこで、市内に本社を置く業者への発注の配慮を陳情する。

主な反対意見

☞市の規定は、「基本的に全ての事業者に均等に機会を与える。」としている部分に反する。

主な賛成意見

☞「市内に本社のある事業者への配慮」の部分は理解できる。

8月臨時会の概要

平成28年第4回臨時会は、8月12日に招集され、即日採決となった。

提案された運動公園陸上競技場改修工事に係る契約1件の承認は、原案通り可決となった。

主な内容 契約額 1億4,364万円

受注者 長谷川体育施設株式会社四国営業所



大久保隆敏

自治会の加入率について

答 弁 加入促進の支援に努める

【質問】人口減少によるコミュニティの希薄化が進む中、自治会の重要性が問われている。大野原、豊浜では80パーセント近く加入しているが、旧観音寺では60パーセント台にとどまっており、40パーセント程度の加入率の自治会もある。今後、高齢化がさらに進み、自助、共助、公助が大切になってくる中、共助というところで不安が残る。市として加入率を上げる手立てをどのようにしているのかを伺う。

【答弁】各自治会とも、人と人とのつながり、交流の促進、生活環境の維持、高齢者の見守りや子供の安全対策、防犯、防災対策など、住みよいまちづくりを進めるため、地域に根ざした活動に取り組んでいる。

市としても、自治会加入率の低下等の状況に対応し、自治会の効率的かつ自主的な活動を支援するため運営費補助を継続するとともに、今後とも自治会加入率の状況、住民意識の変化等を検証し、広報による自治会参加の呼びかけ等、加入促進の支援に努めたい。



大久保隆敏

聞き取りにくい防災無線

答 弁 分かりやすい放送になるように今後検討する

【質問】防災行政無線（スピーカー）からの市のお知らせが分からないという声が多数ある。私の知る範囲では、8割くらいの市民が分からないと言っている。

市は現状を把握しているのか。早急に調査して改善すべきと思うが。

【答弁】自治会長や市民の方から聞き取りにくい場所や放送内容が分かりにくい場所があることを指摘され、聞き取りにくいところがあることは承知している。

それら指摘された場所のほか、音達図から確認を要すると思われるところへは、職員が出向いて音圧を計測するなど、その状況を確認・整理している。

【質問】平常の時でも内容が分かりにくいのは、暴風時には、屋外にいても聞こえないのではないか。

【答弁】屋外拡声子局については、台風などの暴風時に聞こえにくい等の問題点があることは承知している。今後、検討していく。



大平直昭

まちづくり基本条例の制定に向けた積極的な取り組みを

答 弁 条例制定に向けた機運が醸成できる取り組みの推進に、よりいっそう努めていく

【質問】「観音寺市総合振興計画」において制定を目指している、まちづくりの基本理念や市民の参画の仕組みなどを定めたまちづくり基本条例（自治基本条例）の取り組みが遅々として進んでいない。積極的な取り組みが必要ではないか。

【答弁】今後においては、条例の制定に向け、市民の皆さまの理解をより深めるため、広報紙に掲載する内容をより分かりやすいものとなるよう見直すとともに、市民対象の勉強会や講演会の開催を考えている。また市民の声をお聞きする会の開催や検討委員会の設置なども検討していく。





石山 秀和

空家対策について

答 弁 老朽危険空家除却支援事業の実施を検討している

【質問】空家対策推進に関する特別措置法の施行後、市条例も施行され協議会も組織されている。空家対策の進捗を伺う。また、他市では、「老朽危険空家除却支援事業」を創設し処分費の補助を行っている。本制度の導入について伺う。

【答 弁】適正管理が必要な空家については、現場確認、所有者調査をし、文書、訪問により適正管理の通知を行っている。老朽危険空家除却支援事業は、1戸当たり200万円を上限として所有者が1/5、国が2/5、県・市が2/5を負担する補助事業であり、危険空家を減らすための事業として実施を検討している。

記念婚姻届の発行について

答 弁 市独自のオリジナル婚姻届の発行を検討する

【質問】ここ数年の婚活イベントの状況について伺う。また、結婚という節目を市を挙げて祝福し、記念に留めて頂くことを趣旨として通常の婚姻届を提出した際に記念婚姻届と交換する形で発行することを提案する。

【答 弁】平成27年末までに計91組のカップルが誕生し、7組のカップルが成婚に至っている。今年度は、三好市、四国中央市、観音寺市の3市で構成する「四国まんなか交流協議会」の主催で婚活イベントを開催する。また、ご提案の「記念婚姻届」の発行に関しては、観音寺市独自のオリジナル記念婚姻届を作成して希望者が選べるように実施を検討する。



大矢 一夫

広報について

答 弁 情報をタイムリーに提供するため、今後も努力を重ねていきたい

【質問】市の広報活動の現状を伺う。

【答 弁】広報かんおんじは、全戸配布の他、市のHPからも閲覧できる。ホットメールは随時配信でき、フェイスブックは職員が迅速に投稿できる。マスコミには、月に一度記者クラブと市長との定例懇談会を開催するなど積極的にPRしている。

【質問】SNSは頻繁に発信しないと情報が埋もれる。市・瀬戸芸等のフェイスブックの「いいね」を押ししたり、シェアすることにより情報が拡散していく。今回、商工観光課が中心になり瀬戸芸のカウントダウンがSNSでアップされる。SNSをされている議員始め職員の協力が必要。新しい試みなので、どれほど拡散するか楽しみにしている。このように情報発信はタイムリーで効果的な使い方が必要では。

【答 弁】行事開催日等から余裕を持って情報発信しているが、急ぎの場合は、適宜FAXによりタイムリーな情報提供を心掛けている。

【質問】各課縦割りでなく横のつながりを持たないと効果的な情報発信も出来ない。各課からの配信はこれからも必要だが、情報の共有のため、一元的な管理も必要ではないか。

【答 弁】その必要性は感じており、体制の整備を含め、今後検討する。

【質問】これからの広報の活用をどのように考えているのか。

【答 弁】紙媒体・SNSそれぞれのメリットを生かした効果的な広報活動が重要であり、お知らせしたい情報を市内はもとより全国へタイムリーに提供するため、今後も努力を重ねていきたい。



安藤 康次

観音寺ブランド認証制度について

答 弁 情報発信、販売促進・販路拡大に努める

【質問】今回立ち上げたブランド認証制度を中小企業振興計画、策定しようとしている観光基本計画との相乗効果で素晴らしい認証制度にしていかなければならない。市として今後ブランド機能を発揮するためには中長期的マーケティング活動が不可欠である。これからの展開を伺う。

【答 弁】認証制度は、観音寺ブランドとして認証し、情報発信することにより、消費及び販路の拡大を図り、農林水産業の振興と発展に寄与するための制度である。従って、市ホームページでの専用ページの開設やフェイスブックでの紹介、一定数の認証産品がそろった段階でパンフレットを作成するなど情報発信に努めたい。また、販売促進・販路拡大のため、認証産品を、ふるさと納税の返礼品に加えたり、商談展示会への出展支援、トップセールスやショーティープロモーションへの出品支援、香川県内のアンテナショップや市内道の駅などの販売スペースの設置も検討していく。





友枝 俊陽

AEDの普及について

【質問】①市内のAED設置状況は②イベント等への貸出しを行っては③市内コンビニ店舗への設置要請を行っては

【質問】①設置状況は公共施設、医療機関など145か所に設置されている。設置施設は消防本部のHPに掲載されている。②現在貸出し用を保有していない。導入に向け貸出対象や費用負担などの条件を十分検討する必要がある。③コンビニの多くが24時間営業をしており、設置できれば救命に大変有効だと思う。ただ設置には、各店舗の同意が必須であり、本体の費用や保守点検等の課題を整理し研究していきたい。

ふるさと学芸館及び子育て支援施設の運営は

【質問】旧紀伊小学校はふるさと学芸館として、旧萩原小学校は子育て支援施設として活用する方針であるが、その具体的運営内容は。

【質問】ふるさと学芸館は11月1日の仮オープンに向けて準備中。市内の児童や市民など幅広い世代が、楽しく体験学習や交流が行えるような教養講座や学習講座を行う機能を持たせた施設にしたい。

また、子育て支援施設は1階を整備し天候に左右されずに親子が遊べる施設とし、相談や交流を通じ育児不安等を解消できる場としたい。詳しい運営方法や管理はこれから検討していきたい。



篠原 重寿

大災害を想定した救援物資の備えは

【質問】災害用備蓄は、いざという時に速やかな供給ができるよう、分散保管とすべきでは。



【質問】現在、1万5、600人分の食料等を、市防災センターや、本支所庁舎等に保管している。大規模災害時の配送を考え、公民館単位など、分散備蓄を検討する。

【質問】大災害時、地域の情報力が多く命を救ってきた。自治会を含めた「新たなコミュニティ」の推進により、防災力の強化を図るべきと考えるが。

【質問】今後も、自治会などへの様々な補助を通じて、市民主導による活性化推進を支援していく。



伊丹 準二

投票率の向上について

【質問】去る七月の参院選において、有権者の年齢は十八歳に引下げられた。高校・大学へ投票所の設置をした自治体もあったが、本市の対応はどうだったのか、また、期日前投票は増加しているかお伺いしたい。

【質問】本市のホームページでお知らせ周知を行った。

また、選挙への理解を深めて頂くために、県と合同で高校での模擬投票や選挙機器の貸し出しを行った。期日前投票は6、7千人で推移しており、投票所の増設は考えていない。

耐震補強工事について

【質問】5年前の東北、本年の九州の大震災をうけ、耐震診断・耐震補強工事の必要性が言われている。

【質問】本市での進捗状況は低水準のようだが、その状況を打開するために、工事費の全額に近い補助が出来ないかお伺いしたい。

【質問】5年前の東北大震災を受け、耐震診断・耐震改修について補助がなされ、近年の大震災への備えから、その補助も上積みされ、関心を持つ人が増えているが、十分活用されていない。

家を守るのではなく、人命を守ることが目的であり、耐震シェルター導入を考えて頂きたい。



井下 尊義

中学生のピロリ菌検査の実施について

答 弁 医師会と連携して取り組む

【質問】 胃がんの大きなリスクであるピロリ菌の感染。医療機関と行政などが連携して公的な費用を運用し若い世代でのピロリ菌を除去し「胃がんゼロ」を目指す医師の構想を聞いた。本市に於いても胃がんリスクの軽減を図るためにも観音寺市による早期検査の実施をお願いできないか。

【答弁】 二豊・観音寺市医師会において中学生のピロリ菌検査の検討会を立ち上げて取り組んでいただいている。観音寺市も胃がんリスクの軽減を図るため医師会と連携して取り組みたいと考えている。

庁舎内での物品販売について

答 弁 執務室エリア外での取り扱いに周知徹底に努める

【質問】 市役所の部・課長さんの机の上に赤旗・社会新報等の新聞が無造作に置いてあるのをよく見かける。これらは政党機関紙であり、職務中かつ公の職場での取り扱いによれば市庁舎内での公務員の政治活動として見られ、市役所職員の政治的中立性が疑われたとしても仕方ないと思われる。そして、その集金も政党の議員さんが職務中の職場の机まで行き集金をされている。そもそも職務中の職員に対し、立場の強い議員が勧誘・集金を行う行為にも議員の政治倫理観のなさを感ずますが、市庁舎内での営業・販売・集金の許可はどの様になされているのか考え方についてお聞きしたい。

【答弁】 職員が、職務エリア外で購入物品や依頼物の受け渡し、代金の支払い等を行うことは、勤務に支障のない範囲で容認している。指摘の件には、職員・関係者に周知徹底したい。



井上 浩司

高齢者などの見守りについて

答 弁 情報の共有について調査研究

【質問】 見守りは、日常生活における異変や問題を早期に発見し、誰もが安心して住み続けられる地域社会を実現する大切なツールである。

民生委員・児童委員や地元自治会への情報共有を許容する条例の整備や見守りの方法や事例を掲載したガイドブックの作成など、見守り環境を整えることが重要であると考えているが、その点について伺う。

【答弁】 平成26年4月から、新聞販売事業者等の民間事業者に、訪問時において高齢者に異変等がある場合は、通報をお願いする取り組み等現在28の事業者と協定を締結している。

民生委員・児童委員の主な仕事は、住民の相談に応じ、助言など援助をするとともに、福祉サービスを必要とする人が適切に利用できるよう、情報提供等を行うことである。

そのためには、自治会と民生委員が情報を共有し、協働しながら地域を見守っていくことが大切だと考える。

今後、見守り支援や孤立防止支援において、個人情報扱際の目安となるものが望まれており、研究していきたいと考えている。ガイドブックの作成については、担い手となる人材の育成、個人情報の適切な共有方法などについて調査を行い検討していきたい。



藤田 均

放課後児童クラブの現状について

答 弁 申込児童が多い小学校には、空き教室の活用をお願いし対応したい

【質問】 児童クラブの対象が6年生まで拡大し申込数はどう変わっているのか。国は放課後児童クラブの充実に多くの補助金を設け、特に40人以上のクラブの分割には力をいれているが、各教室の人数は。

【答弁】 教室への申し込みは、観音寺83人、高室30人、常磐76人、柞田78人、一ノ谷40人、大野原63人、豊浜98人である。

来年4月から栗井にも開設する。補助金を積極的に活用し、施設整備に努める。



市営住宅の入居抽選や管理計画は

答 弁 人口減少に見合う必要戸数を定め、管理に努める

【質問】 全国的に安価な住宅が不足するなかで、本市の応募と抽選方法、及び今後の建設計画を伺う。

【答弁】 平成27年度は、4回の募集で54人の申込みがあり、応募倍率は1.4倍、今年度は2回の募集で21人の申込みがあり倍率は1.9倍となっており、抽選は公開抽選会により公平に実施している。また、今後は人口減少に伴う本市に見合う必要戸数を定め、縮小を前提に改善、統合、廃止、建替え、用途廃止等を進める。



高橋 照雄

非正規労働者の正規転換と待遇改善を

答 弁
ハローワークの取り組みに協力したい

【質問】一億総活躍プランでもある、正規、非正規労働者の待遇是正について、どのように考えられているのか伺う。また、観音寺市における現状について把握されているのか伺う。

【答弁】正規、非正規労働者の待遇是正については、「一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策」において、非正規労働者の正規社員転換、待遇改善の推進に取り組みこととされている。このことを受けて、平成27年10月、厚生労働省香川労働局において、平成28年度から32年度の5年間における「香川正社員転換・待遇改善実現プラン」が決定された。このプランに基づき、非正規労働者の正社員転換や待遇改善の推進に取り組みとされており、今後に期待するとともに、市としても地域のハローワークの取り組みに協力したい。尚、平成22年の国勢調査において、15歳以上の就業者における観音寺市の正規・非正規労働者の割合は正規が約70%、非正規が30%となっている。



五味 伸亮

地域貢献事業者認定制度の導入を提案

答 弁
中小企業振興審議会の審議を交えながら検討する

【質問】観音寺市中小企業振興基本条例を制定し、振興策が策定されたが、条例で謳われている行政、企業、市民の責務の浸透が弱く感じる。そこで地域貢献度の高い中小企業を市が認定する制度「地域貢献事業者認定制度（仮称）」を提案する。中小企業は雇用以外にも、市民生活上に帰する様々な場面で地域に貢献している。例えば、防犯・交通安全・イベント・ボランティア・協賛・環境対策など、積極的に実践されている企業が多くある。そのような企業を市がPR、認定する制度で、公器である企業の責務としての地域貢献と、それを認める行政の責務、中小企業を応援し、育てる市民の責務、つまり条例の理念に繋がる。魅力ある企業を集め、魅力ある企業を育て、急激な人口減少に歯止めをかけるためにも、制度の導入を提案するが、市の考えを伺う。

【答弁】この制度は地域貢献を積極的に行う事業者を市が認定し、企業イメージの向上や地域社会からの信頼を確保することにより産業の活性化を図ろうとするものである。中小企業振興基本条例では「地域社会への貢献に努めるものとする」、中小企業振興計画では「地元を愛される企業づくりを推進すること」としている。提案の制度については中小企業振興審議会における審議を交えながら検討してまいりたい。

掲載できなかった一般質問

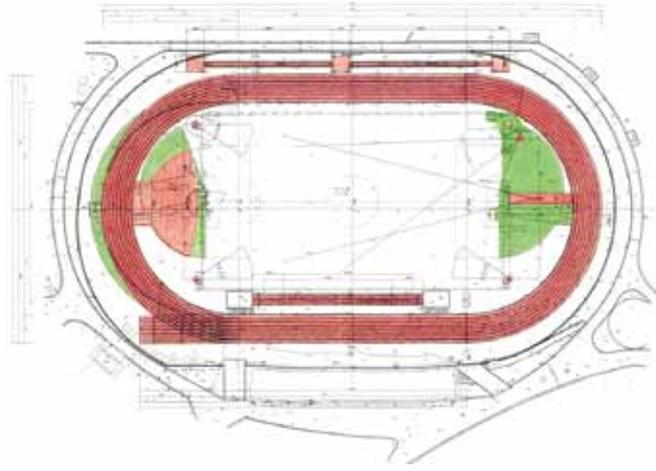
氏 名	質 問 件 名
諒問 茂	<ul style="list-style-type: none"> ● 老老介護について ● 介護施設について ● 子ども食堂について ● 座りすぎ防止について
石山 秀和	<ul style="list-style-type: none"> ● 新卒者への雇用マッチング対策について ● 被災者支援システムの運用について ● 中小企業活性化策の進捗状況について
安藤 康次	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車事故防止について ● 骨髄移植ドナー支援事業について
篠原 重寿	<ul style="list-style-type: none"> ● まちづくりの指針について ● 財政運営について ● 職場のメンタルヘルスについて

氏 名	質 問 件 名
藤田 均	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護保険の連続改正の途中経過について ● 認知症の初期段階の対策について ● 後期高齢者医療制度の改正について ● 国民健康保険事業の今後の課題について
高橋 照雄	<ul style="list-style-type: none"> ● 財政について
五味 伸亮	<ul style="list-style-type: none"> ● 新市民会館の広域的な活用について ● 小規模農業の活性化について ● ファミリープール跡地活用について

総務委員会報告

8月12日臨時会

観音寺市総合運動公園陸上競技場改修工事の工事請負契約について、委員から反対の意見はなく、全会一致で同意すべきものと決定した。



陸上競技場改修工事の設計図▶

決算審査特別委員会報告

9月12日～14日開催

平成27年度各会計決算認定に関する12議案を付託し、審査した。

主な意見

認定第1号について、マイナンバー関連事業に経費がかかり過ぎていること、介護保険事業関係の市民の負担増について、また、新庁舎の備品購入の一部について、それぞれ反対するとの意見があった。

また、認定第6号について、市民の負担が増大したため、反対するとの意見があった。

審査の結果、12議案とも原案のとおり認定すべきものと決定した。

総務委員会報告

9月21日開催

市民部1議案、政策部2議案、総務部5議案を審査。委員から反対の意見はなく全会一致で原案のとおり同意、可決すべきものと決定した。

追加議案について総務部関係が

1議案、委員から反対の意見はなく全会一致で同意すべきものと決定した。

請願審査

公共交通機関の存続に向け、JR四国等に係る税制特例の継続等を求める請願

主な意見

採択の立場からの意見
「JR四国の経営悪化にかかわること、経営悪化が雇用に影響する。また運賃等も影響する可能性がある。」

不採択の立場からの意見

「3つある労働組合のうちの一つの労働組合だけの請願であり、また、経営者側からの提出はない。」

「5年前に継続としたものと同じ内容であり、その時の疑問点が解消されていない。」

賛成少数で不採択とすべきものと決定した。

陳情審査

清掃業委託事業についての陳情書

主な意見

採択の立場からの意見

「香川県内の流れそのものが市内に本社を持つところに向かっていく。」

「基本的に地場を育成することが必要である。」

不採択の立場からの意見

「市内に本社がある業者全員が加盟する組合からの提出でない問題がある。」

継続審査の立場からの意見

「現状とか疑問点、本社縛りにすることによる他の業種への影響について慎重に審査すべきである。」

賛成多数で採択すべきものと決定した。

建設経済委員会報告

9月21日開催

経済部2議案、建設部1議案、上下水道部1議案を審査。委員から反対の意見はなく全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

文教民生委員会報告

9月16日開催

健康福祉部2議案、教育委員会関係1議案を審査。委員から反対の意見はなく全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

行政視察の報告

建設経済委員会 視察報告

日程 7月20日～22日

場所・事項 山口県宇部市

●うべ元気ブランドについて

宇部市で採れた農水産物を活用して市内で加工した製品を、年に1回募集をし専門の委員が審査を行い、市が「うべ元気ブランド」に認証し、販売促進や販路拡大を支援している。

山口県山口市

●観光交流基本計画について

平成22年3月、観光交流計画策定、基本目標、基本方針を定める。

行っている取り組みとして、

- (1) 大内文化特定地域回遊促進事業
- (2) インバウンド観光客誘致促進事業
- (3) 湯田温泉観光回遊拠点施設整備事業
- (4) 観光情報発信の充実と強化、情報収集、(観光プロモーションの強化など)

山口県周南市

●徳山駅周辺整備事業について

駅前広場事業計画によって、

- (1) 歩行者の移動時間の短縮
- (2) 公共交通相互の乗り換えの利便性を向上
- (3) 快適で円滑な歩行者空間を確保 などの事業効果を得た。

さらに、これらの事業により鉄道で分断された市街地の南北連携の強化が図られ、エスカレーター、エレベーターの整備により、上下移動の快適性が向上され、安全で明るく開放的な歩行者空間が確保された。

広島県呉市

●農業再生事業について

- (1) 遊休農地再生、活用事業

農地の畦畔等の除草や、農地の景観形成作物の植え付け、農地を活用したイベントの開催などを助成することによって地域を巻き込んでの活動となり、地域農業の活性化が図られた。

- (2) 農業元気アップ事業

呉市の農業を元気にさせる、創意工夫あふれる取り組みを支援する。対象は農家、食品業者、地域団体等で、市の農業を元気にし、新たな農業振興につながる取り組みで、継続性のあるもの。この事業により、一定の成果が出ており、地域農業の活性化に寄与する事業になっている。



▲山口県宇部市

市民フォーラムの報告

参加された高校生の皆さん ありがとうございます

テーマ 高校生と考えるこのまちのミライ

日時 平成28年8月25日(木)

場所 本会議場

観音寺中央高等学校、香川西部養護学校、三豊工業高等学校、観音寺第一高等学校の20名の高校生の皆さんに参加いただき、高校生による代表質問やテーマに基づいて議員との意見交換等を行いました。高校生からいただいた貴重なご意見や提案を今後の議会活動に生かしていきたいと思っております。



審 議 結 果

議案の審議結果 平成28年第4回（8月）臨時会

●全会一致の議案

議案番号等	議 案 名	議決結果
議案第61号	工事請負契約の締結について（観音寺市総合運動公園陸上競技場改修工事）	同 意

議案の審議結果 平成28年第5回（9月）定例会

●全会一致の議案

議案番号等	議 案 名	議決結果
認定第2号	平成27年度観音寺市施設貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第3号	平成27年度観音寺市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第4号	平成27年度観音寺市国民健康保険伊吹診療所特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第5号	平成27年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第7号	平成27年度観音寺市航路事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第8号	平成27年度観音寺市粟井財産区特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第9号	平成27年度観音寺市粟井坂瀬山林特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第10号	平成27年度観音寺市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第11号	平成27年度観音寺市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第12号	平成27年度観音寺市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
議案第62号	観音寺市附属機関設置条例の一部改正について	原案可決
議案第63号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同 意
議案第65号	工事請負契約の変更契約の締結について（観音寺新市民会館建設工事）	//
議案第66号	財産の処分について	//
議案第67号	平成28年度観音寺市一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第68号	平成28年度観音寺市施設貸付事業特別会計補正予算（第1号）	//
議案第69号	平成28年度観音寺市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	//
議案第70号	平成28年度観音寺市粟井坂瀬山林特別会計補正予算（第1号）	//
議案第71号	平成28年度観音寺市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	//
議案第72号	工事請負契約の変更契約の締結について（観音寺市総合運動公園陸上競技場改修工事）	同 意

●賛否の分かれた議案

議 案 名 等	議 員 名														議決結果							
	豊浦	篠原	友枝	井下	詫間	藤田	五味	篠原	立石	伊丹	安藤	大矢	大平	井上		大賀	秋山	石山	安藤	大久保	高橋	
	孝幸	和代	俊陽	尊義	茂	均	伸亮	重寿	隆男	準二	康次	一夫	直昭	浩司	正三	忠敏	秀和	忠明	隆敏	照雄		
	民政	民政	民政	民政	民政	共産	立志	社民	民政	民政	民政	民政	友志	友志	民政	民政	公明	公明	立志	立志		
認定第1号	平成27年度観音寺市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	認 定
認定第6号	平成27年度観音寺市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	//
議案第64号	物品製造請負契約の締結について（平成28年度及び平成29年度戸別受信機）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	-	●	○	撤 回
請願第2号	公共交通機関の存続に向け、JR四国等に係る税制特例の継続等を求める請願について	●	●	●	●	●	○	○	○	欠	●	●	●	○	○	●	●	●	-	○	○	不 採 択
陳情第1号	清掃業委託事業についての陳情書	○	○	○	○	○	●	●	●	欠	○	○	○	●	●	○	○	○	-	●	●	採 択

※議長は可否同数の場合のみ裁決権があります。 ※○…賛成 ●…反対 欠…欠席



平成28年度 議会報告会

市民と議会のつどい

●内容

平成28年度の事業と委員会報告、参加者の皆様との意見交換 など

●日時・場所

2016年11月6日(日) 14:00~15:30

共同福祉施設2階 軽運動室 (市役所 横)

多くの皆様のお越しをお待ちしております!

視察に来てくれました

- ◆青森県平川市議会 「新庁舎建設について」
- ◆山口県萩市議会 「タッチ議会システムの導入について」
- ◆宮城県石巻市議会 「介護支援ボランティア制度について」
- ◆福井県鯖江市議会 「がんばれ観音寺応援隊について」
- ◆東京都府中市議会 「新庁舎の概要について」
- ◆北海道砂川市議会 「特定健診における歯科保健指導について」

20日	14日	13日	12日	8~9日	2日	12月定例会の予定
本会議	総務委員会	建設経済委員会	文教民生委員会	本会議(一般質問)	本会議	

今回の議会だよりは、9月議会の内容が中心です。

特に、8月25日に開催された「高校生と考えるこのまちのミライ」と題して議場で行われた、高校生のまちづくりへの提案は、選挙権の18歳への引き下げを機に、政治への関心を高めて頂きたいとの思いから行われたものです。

今後、様々な機会を通して、市民の皆様へ議会活動をご理解していただけるよう努力してまいります。

編集後記

委員長 伊丹 準二
副委員長 石山 秀和

篠原 重寿
大平 直昭
井下 尊義
五味 仲亮
豊浦 孝幸

広聴広報委員会



古紙配給率70%再生紙を使用しています



この議会だよりは環境にやさしい植物油インキを使用しています。